

ハウステンボスグループ 平成27年9月期第2四半期の業績について

ハウステンボス株式会社（本社：長崎県佐世保市）とグループ会社の平成27年9月期第2四半期の業績は以下の通りとなりました。

【ハウステンボス株式会社】

（ハウステンボス）

前期に引き続き当期もご来場のお客様のご期待を超える感動を提供すべく場内サービスの質的向上に取り組むとともに、「花の王国」「光の王国」「音楽とショーの王国」「ゲームの王国」の4つのイベント展開軸を中心とした”オンリーワン・ナンバーワン”の新規イベントの開発と実施、従来からお客様にご支持をいただいているコンテンツのバージョンアップに努めました。

「花の王国」については10月に「世界フラワーガーデンショー2014」を開催。併せて「光のベゴニアガーデン」も初展開したことに加え1月には「大胡蝶蘭展」、2月からは国内最多700品種の「チューリップ祭」をそれぞれ実施し、花目的のお客様にご満喫いただきました。

大規模イルミネーション展開「光の王国」については世界初の運河イルミネーション「光と噴水の運河」を新たに投入し、関連展開の「光の運河クルーズ」も大変なご好評をいただくなど昨年を越えるお客様満足度を獲得しています。またお客様参加型の日本最長級「光のパレード」も好評を博し、光の王国のコンテンツのひとつとして定着しています。

「音楽とショーの王国」では10月より場内でオペレッタやアンサンブルなどクラシックからジャズ、ポップスまで生演奏をお楽しみいただく「ハウステンボス音楽祭」を開催。1月からはお客様にご参加いただく「仮面舞踏会大カーニバル2015」を展開し本場さながらの仮面舞踏会をご体感いただきました。また人気コンテンツのひとつとしての地位を確立しつつある「ハウステンボス歌劇団」も当期中2回の新演目を展開し多くのファンのお客様をステージ上の演技で魅了しています。

昨年7月に第一弾スタートした「ゲームの王国」についても「鳥獣ライド」「ナイトメア・ラボ」「ドームシューティング360」など新規コンテンツを投入した第二弾展開を行い更なる充実を図りました。

その他、「ハウステンボス ハロウィーン」、チョコレートをテーマにしたアトラクション「ショコラ伯爵の館」の新設などを行い、お子様からご年配のお客様まで三世代で楽しみながらお過ごしいただける魅力作りに努めました。

上記取組みの結果、入場者数は前期比106.7%の1,602千人、宿泊者数は102.0%の175千人、取扱高は前期比110.6%の14,810百万円となりました。一方、イベント費や広告宣伝費、人件費といった戦略的な経費の強化により一般費及び販売管理費は前期比108.8%の6,539百万円となり結果、営業利益は114.7%の4,834百万円。佐世保市からの再生支援交付金の終了に伴い前期比で367百万円の営業外収入の減少があったものの経常利益は5,077百万円と108.7%と増加の結果となりました。

(大阪城展開)

前期に開催した「大阪城3Dマッピング スーパーイルミネーション」を、再び進化させ平成26年12月13日(土)より平成27年3月1日(日)まで開催しました。

本企画は大阪観光局との連動展開で前期に初開催。大阪での冬季の新スポットを創り出し、イルミネーションイベントとして世界最大級の規模を誇るハウステンボス「光の王国」の技術を結集した“天下一”贅沢な光のエンターテインメントとして話題を呼びました。

今期は、映像を新装した“3Dプロジェクションマッピング”をはじめ、目を引く“光のピラミッドツリー”が登場。さらに、一面に広がる“光のビックブルー”と光と音楽のショー“ジュエルイルミネーションショー”も展開し、4つの見どころでご来場のお客様にお楽しみいただきました。

ただし前期に比して関西エリアでプロジェクションマッピングやイルミネーション展開を体験できるスポットが増加し、お客様の選択肢が多様化したことにより入場者数は前期比59%の346千人で終了。取扱高は同65.7%の946百万円、営業利益は同32.9%の276百万円、経常利益は同33.2%の279百万円との結果となりました。

【株式会社ラグーナテンボス】

蒲郡海洋開発(株)より事業承継後、『新生ラグーナテンボス』として本格展開がスタートした期となりました。

11月14日から開催されました「日本初!!2大3Dマッピング」がお客様にも好評であり、テーマパーク(ラグナシア)の開業当初からの月間入場者数の記録を3ヶ月連続で更新しました。

又、直営店舗の導入により食の充実を図り、原価率が改善された結果、当期上半期の取扱高は、1,723百万円、営業利益124百万円、愛知県蒲都市からの運営事業支援金(補助金収入274百万円)を含めて、経常利益402百万円という結果となりました。

【ハウステンボス技術センター株式会社】

昨年の消費税増税前の大型の設備更新・多数の不動産仲介それに伴うリフォーム等における駆け込み需要の反動が影響し、取扱高は前期比83.7%の424百万円、営業利益は同70.3%の53百万円、経常利益は同74.3%の56百万円との結果となりました。

【エイチ・テイ・ビィ観光株式会社】

航空券を使ったパッケージツアー及び出張手配の売上シェアが伸び、さらにハウステンボスの好調さが牽引して団体の取扱が増えたことで、売上が大幅に好転し取扱高が前期比163.3%の121百万円、営業利益は9百万円、経常利益は10百万円と前期の赤字から業績回復いたしました。

➤ 収支概要

【ハウステンボス株式会社】(単位:百万円) *大阪城展開を除く

- ・ 入場者数 1,602千人(前期比 106.7%)
- ・ 内 海外客数 114千人(前期比 111.5%)
- ・ 宿泊者数 175千人(前期比 102.0%)

ハウステンボス	当期	前期	増減	前年比
取扱高	14,810	13,387	1,423	110.6%
売上原価	3,437	3,161	276	108.7%
売上総利益	11,373	10,226	1,147	111.2%
販売費および一般管理費	6,539	6,013	526	108.8%
営業利益	4,834	4,213	621	114.7%
経常利益	5,077	4,668	408	108.7%

【大阪城3Dマッピングスーパーイルミネーション】(単位：百万円)

- ・ 入場者数 346千人 (前期比 59.0%)

大阪城3Dマッピング	当期	前期	増減	前年比
取扱高	946	1,440	▲ 494	65.7%
売上原価	108	117	▲ 9	92.0%
売上総利益	838	1,323	▲ 485	63.3%
販売費および一般管理費	562	485	77	116.0%
営業利益	276	838	▲ 562	32.9%
経常利益	279	840	▲ 561	33.2%

【株式会社ラグーナテンボス】(単位：百万円)

- ・ 入場者数 351千人 (前期比 117.9%)

ラグーナテンボス	当期	前期	増減	前年比
取扱高	1,723			
売上原価	285			
売上総利益	1,439			
販売費および一般管理費	1,315			
営業利益	124			
経常利益	402			

【ハウステンボス技術センター株式会社】(単位：百万円)

ハウステンボス技術センター	当期	前期	増減	前年比
取扱高	424	507	▲ 83	83.7%
売上原価	349	414	▲ 64	84.4%
売上総利益	75	93	▲ 18	80.3%
販売費および一般管理費	21	17	4	124.4%
営業利益	53	76	▲ 22	70.3%
経常利益	56	76	▲ 20	74.3%

【エイチ・テイ・ビー観光株式会社】(単位：百万円)

エイチテイビー観光	当期	前期	増減	前年比
取扱高	121	74	47	163.3%
売上原価	70	43	26	160.8%
売上総利益	52	31	21	166.7%
販売費および一般管理費	42	41	2	104.3%
営業利益	9	▲ 10	19	
経常利益	10	▲ 10	19	

【ハウステンボスグループ 平成27年9月期第2四半期の業績（連結ベース）】（単位：百万円）

ハウステンボスグループ	当期	前期	増減	前年比
取扱高	17,798	15,268	2,530	116.6%
売上原価	4,301	3,750	552	114.7%
売上総利益	13,497	11,519	1,978	117.2%
販売費および一般管理費	8,299	6,380	1,918	130.1%
営業利益	5,198	5,138	60	101.2%
経常利益	6,334	5,595	739	113.2%

※ハウステンボス計+ラグーナテンボス+HTB 観光+HTB 技術センター+HTB クルーズ

【ハウステンボス株式会社(単独) 平成27年9月期通期業績見通しについて】

- ・ 入場者数 307万人 (前期比 110%)
- ・ 宿泊者数 33万5千人 (前期比 110%)
- ・ 売上高(取扱高) 301億円 (前期比 115%)
- ・ 営業利益 95億円 (前期比 130%)
- ・ 経常利益 100億円 (前期比 120%)

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》
 ハウステンボス株式会社 経営企画室 高田・中野裕子
 TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025
<http://www.huistenbosch.co.jp>